

傳樂田舎原八

特 別  
A13  
4274  
8







境  
志

種彦作  
國貞画

八編上

113  
4274  
8

91-2339



源田修  
氏舍紫

種彦作  
國貞画

癸巳  
春發兌  
八編  
上冊

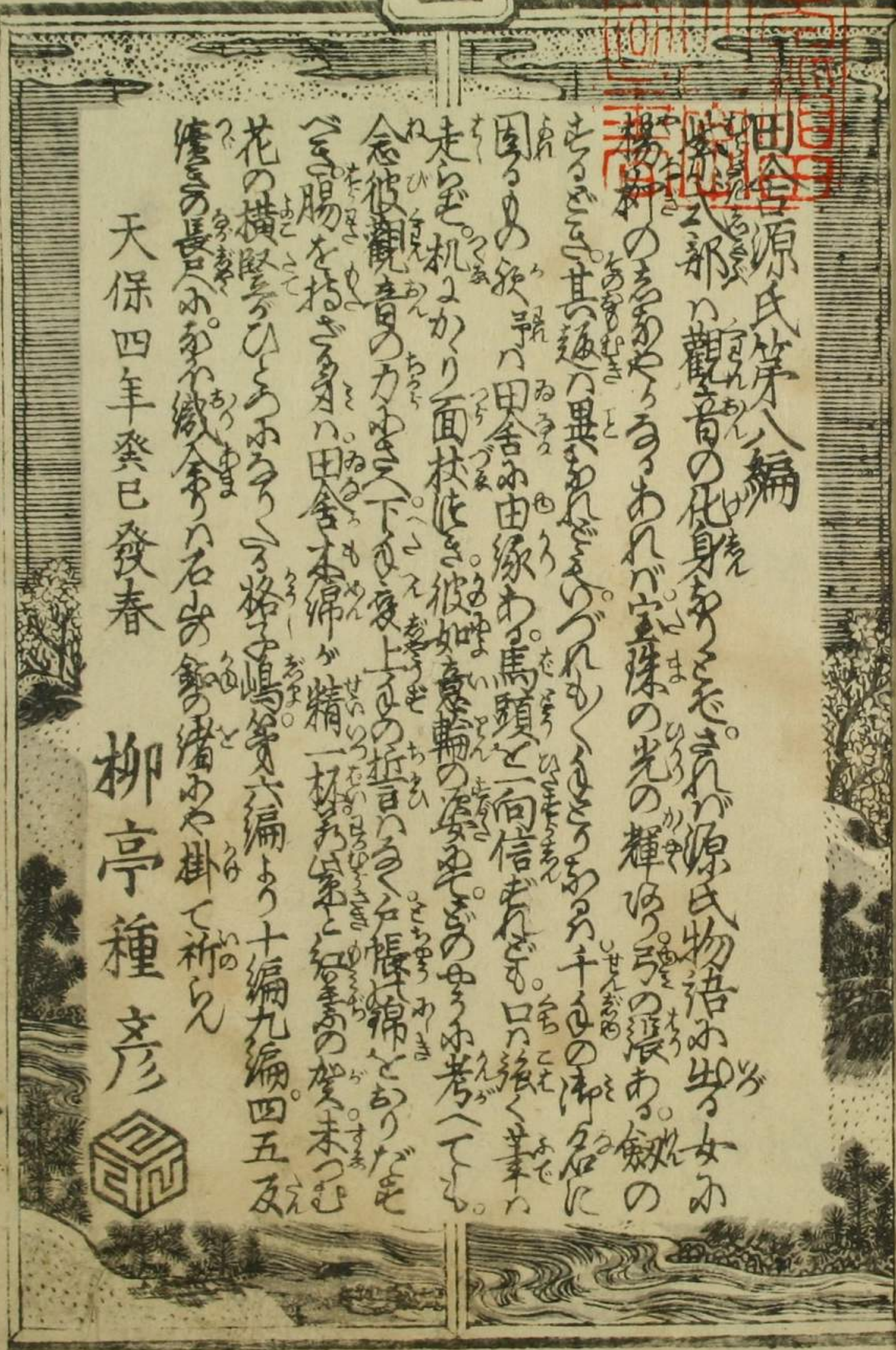
仙雀  
堂  
梓

田舎源氏第八編

紫式部の観音の化身ありて毛。其の源氏物語の女小  
楊柳のまゝありてあるあれは宝珠の光の輝けり。張の張る。劔の  
さる。其の趣の異なり。つれも。千の御名に  
因り。其の田舎由縁あり。馬頭と。向信を。口の強く。業の  
走ら。机より。面杖を。彼如意輪の姿あり。その考へて。も  
念彼観音の力あり。下。夜上。の誓言。紅帳は。錦と。あり。た。毛  
念。腸を。持。田舎。本。綿。が。精。一。切。紅。糸。の。髪。未。つ。む  
花の横。髪。の。ひ。と。あり。格。子。嶋。等。六。編。より。十。編。九。編。四。五。反  
儘。の。長。の。糸。織。余。の。石。の。釣。鐘。の。掛。て。祈。り

天保四年癸巳發春

柳亭種彦



百八十一

二



いそ  
あまが  
あまに  
まけ  
あらん

光氏十八歳七編と同年

あ  
い  
い  
あ  
あ  
あ

義勝の  
嫡女  
稲舟姫

稲舟の侍女  
花里































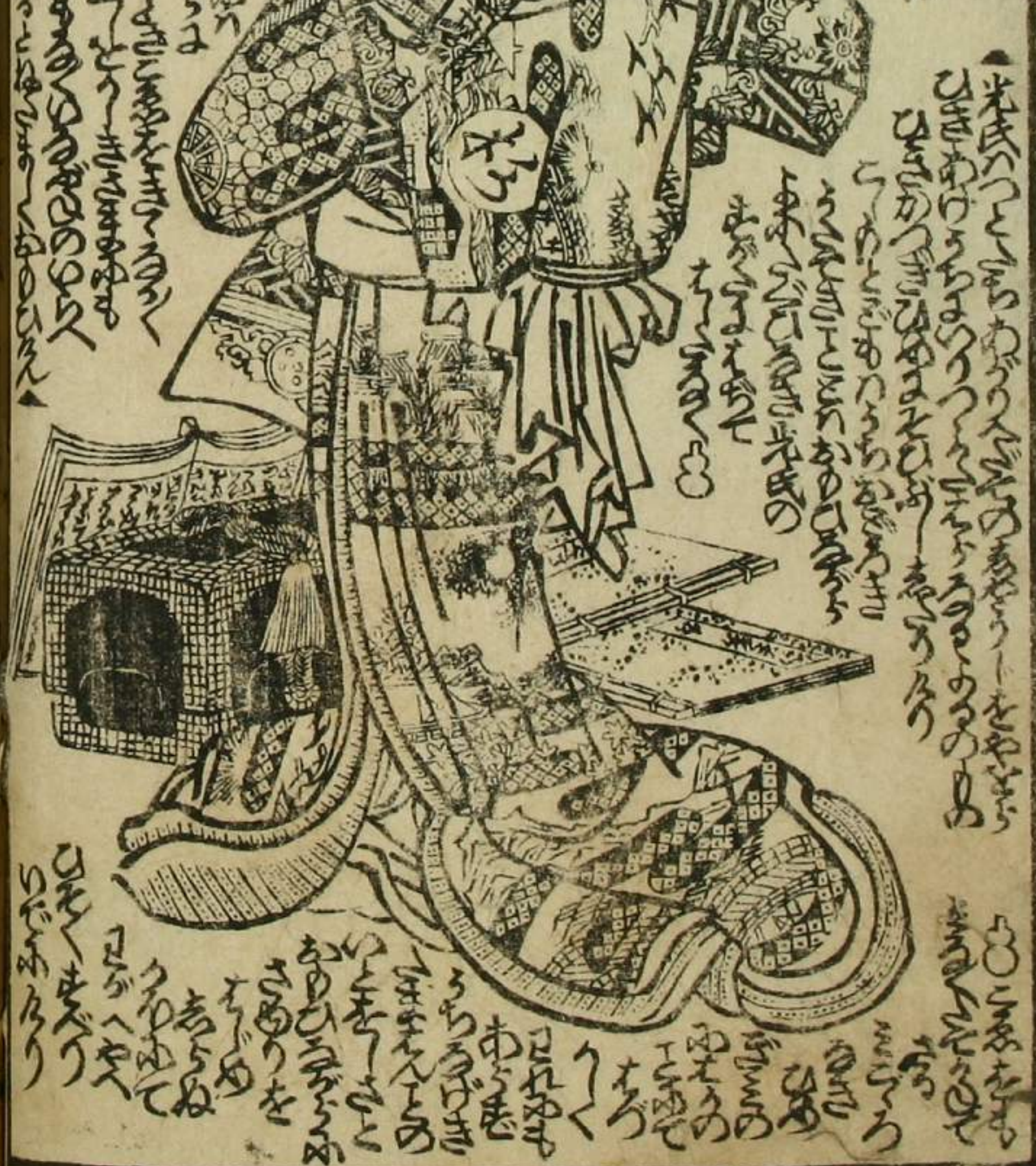






# 國貞画種彦作

源氏物語の巻の首  
 ちつとかなるのめいれ下と先氏も  
 志すうののさるうりあり年あちの  
 日しつたはしつたはしつたはしつたは  
 ちつとかなるのめいれ下と先氏も  
 志すうののさるうりあり年あちの  
 日しつたはしつたはしつたはしつたは



## 田舎源氏

彫刻延子の老の月あるひの四月  
 向ふ本を討  
 るまむも貴人せしむるわがまむ  
 矢野の程奉奉の

東甲午春新板繪冊子合巻  
 冬巻の冬巻の冬巻

### 波菱柳色糸

柳亭種彦作

歌川國貞画

名柳の長かきを様子柳の短かき十二冊ありて全くとる物がくまあり  
 四冊づゝ二軒の同屋より巻出て其年より其年より物諸のちりし別ふ  
 おりしきねもつらと巻紙の色どりはえりしきねもつらと巻紙の色どり  
 彫りしきねもつらと巻紙の色どり  
 作者註くとも序年をわらふべし

作者註白

## 考訂大和訃

再板出来

柳亭校

弄花翁撰

### 江の島鎌倉大山往來双六

前北齋為一画

柳亭種彦撰

為一画の地は遊歩のとき  
 のふあちをこれをして見入りその地は  
 双六のて且後自本ともあるべし

## 江戸通津野地本書林

仙鶴堂

小林喜右衛門印行



八編下

原  
氏

合

仙  
雀  
楼













Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, located at the top of the right page. The text is arranged in several vertical columns.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, located at the bottom of the right page. The text is arranged in several vertical columns.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, located at the top of the left page. The text is arranged in several vertical columns.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, located at the bottom of the left page. The text is arranged in several vertical columns.



原氏八編 (Original Edition 8)















源氏物語の一場面を描いた挿絵の上部に記された和歌の本文。文字は縦書きで、右から左へと読む。内容は物語の情景や登場人物の心情を詠じたものと思われる。



挿絵の下部に記された和歌の本文。文字は縦書きで、右から左へと読む。これは物語の続きまたは別の場面を詠じた歌である。

源氏物語の一場面を描いた挿絵の上部に記された和歌の本文。文字は縦書きで、右から左へと読む。内容は物語の情景や登場人物の心情を詠じたものと思われる。



挿絵の下部に記された和歌の本文。文字は縦書きで、右から左へと読む。これは物語の続きまたは別の場面を詠じた歌である。

挿絵の下部に記された和歌の本文。文字は縦書きで、右から左へと読む。これは物語の続きまたは別の場面を詠じた歌である。







Original text in the top left corner of the left page, written in vertical Japanese characters.



Original text in the bottom left corner of the left page, written in vertical Japanese characters.

Original text in the top right corner of the right page, written in vertical Japanese characters.



Original text in the bottom right corner of the right page, written in vertical Japanese characters.

Original text on the left margin of the left page.

Original text on the right margin of the right page.







洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は

洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は

# 國貞画種彦作



洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は  
洗玉欄の岩下を  
流す水は

筆耕  
十形道友  
坂本氏  
精製仕立  
仙臺香  
義幸香  
右五三郎  
仙臺香  
義幸香  
右五三郎

## 天保己新春新版書林本地問屋仙堂

傾城水滸傳第十二編 歌川貞景 全八冊	三國志書傳第五編 歌川貞景 全八冊	八萼藤王傳 歌川貞景 全六冊	修紫田舎源氏 歌川貞景 全六冊	仙女香 歌川貞景 全六冊	成歌香 歌川貞景 全六冊
傾城水滸傳第十二編 歌川貞景 全八冊	三國志書傳第五編 歌川貞景 全八冊	八萼藤王傳 歌川貞景 全六冊	修紫田舎源氏 歌川貞景 全六冊	仙女香 歌川貞景 全六冊	成歌香 歌川貞景 全六冊
百人一首童講譯 歌川貞景 全四冊	出世奴小万の傳 歌川貞景 全四冊	花街雀竹夜遊 歌川貞景 全四冊	國字水滸傳第十二編 歌川貞景 全四冊	春遊霞 歌川貞景 全四冊	團扇紙 歌川貞景 全四冊
百人一首童講譯 歌川貞景 全四冊	出世奴小万の傳 歌川貞景 全四冊	花街雀竹夜遊 歌川貞景 全四冊	國字水滸傳第十二編 歌川貞景 全四冊	春遊霞 歌川貞景 全四冊	團扇紙 歌川貞景 全四冊
百人一首童講譯 歌川貞景 全四冊	出世奴小万の傳 歌川貞景 全四冊	花街雀竹夜遊 歌川貞景 全四冊	國字水滸傳第十二編 歌川貞景 全四冊	春遊霞 歌川貞景 全四冊	團扇紙 歌川貞景 全四冊

團扇紙  
問屋鶴屋喜左衛門  
江戸通油町







